

【プレスリリース】

2024年1月11日

公益財団法人がん研究会

パレクセル・インターナショナル株式会社

※本資料は、パレクセル・インターナショナルが2024年1月10日に発表しましたプレスリリースの和文抄訳であり、内容につきましては英語原文が優先されます。

公益財団法人がん研究会とパレクセル、戦略的な提携を発表

～がん臨床試験への患者アクセスを効率化するパートナーシップを締結、

アジア太平洋地域におけるパレクセルのサイト・アライアンス・ネットワークのさらなる拡大を目指す～

【2024年1月10日（米国時間）、ノースカロライナ州ダーラムおよび東京発】日本初の非営利がん研究団体である公益財団法人がん研究会（所在地：東京都江東区、理事長：浅野敏雄、以後「がん研究会」）と、第I相から第IV相までの臨床開発サービスを提供する世界有数の医薬品開発業務受託機関（CRO）であるパレクセルが、日本におけるがん臨床試験へのアクセスを加速するための戦略的提携締結を発表しました。

本契約に基づき、がん研究会はパレクセルのグローバル・サイト・アライアンス・ネットワークに参加し、がん臨床試験の優先的な実施施設となり、日本の患者さんががん研究に参加する機会を増やします。パレクセルは、がん研究会の専門知識を活用し、スポンサーが日本の標準治療と承認プロセスにより合致したプロトコルを開発できるよう支援することで、患者募集と治験開始を迅速化します。

パレクセルの日本法人 パレクセル・インターナショナル株式会社代表取締役社長である三木茂裕は、次のように述べています。「世界的な傾向と同様に、日本でもがんの罹患率は増加すると予想されています。がん研究会がパレクセルのサイト・アライアンス・ネットワークに加わる事で、治験参加への障壁を取り除き、人生を変える可能性のある治療を日本の患者さんが受けられるよう、協力して行きたいと考えています」

100年以上の実績を誇るがん研究会は、日本で最初のがん医療に特化した医療・研究団体であり、部門横断的かつ全人的医療を提供するがん専門機関として、最先端の研究施設、そして多くの患者を受け入れていることで知られています。がん研究会の治療に関する専門知識とパレクセルの臨床研究の経験を組み合わせることで、日本におけるがん治療の選択肢を広げると同時に、がん研究において十分に力

バーされていないことが多い日本人患者を効率的にリクルートすることができます。

がん研究会有明病院の佐野武院長は、次のように述べています。「パレクセルとがん研究会は、日本におけるドラッグロスを改善しなければならないという危機感を共有し、この戦略的提携に至りました。がん研究会の基本理念は、がん克服をもって人類の福祉に貢献することです。パレクセルと緊密に協力し、この理念を実現できることを期待しています」

パレクセルのサイト・アライアンス・ネットワークは、治験行程における重要な課題に対処し、患者をより効率的にリクルートし、治験責任医師と患者さんにグローバルな治験に参加する機会を拡大するための戦略的な治験施設向けソリューションを提供することを目的としています。このネットワークは、世界中で約21,000人の治験責任医師を擁する、480以上の施設で構成されています。

今回のがん研究会との戦略的提携は、パレクセルのアジア太平洋地域における患者さんファースト主義、および腫瘍学などの主要治療領域における臨床的イノベーションを推進する取り組みの延長線上にあります。パレクセルは、京都大学医学部附属病院、大阪国際がんセンター、北京疾病挑戦基金会、中国医学科学院肿瘤医院など、この地域の他の主要提携先ともアライアンスを推進しています。

パレクセルについて

パレクセルは、世界最大級の医薬品開発業務受託機関（CRO）として、命を救う治療をより早く患者さんに届けられるよう、第I相から第IV相までの臨床開発サービスを提供しています。21,000人を超えるグローバルなチームは、臨床、規制、治療に関する幅広い専門知識を活用し、バイオ医薬品のリーダーや新興イノベーター、治験実施施設と連携しながら患者さんを念頭に置いた臨床試験のデザインと実施を行っており、臨床研究が誰でも、どこでも受けられるケアの選択肢となるよう、アクセスや参加の拡大に取り組んでいます。

当社が過去40年の間に培った深い業界知識と確かな実績は、業界を前進させ、ヘルスケアの最も複雑な分野における臨床研究を推進しています。中でも、パレクセルのイノベーション・エコシステムは臨床試験プロセスのあらゆるフェーズを効率化する最適なソリューションを提供しています。人、インサイト、そして卓越したオペレーションに焦点を当て、私たちは日々、患者さんに尊厳を持って接し、患者さんの体験から継続的に学ぶことで、すべての臨床試験を変化につなげられるよう、まごころを込めて（With Heart™）取り組んでいます。詳細については、[ウェブサイト](#)や [LinkedIn](#)、[X（旧Twitter）](#)、[Instagram](#)をご覧ください。

公益財団法人がん研究会について

がん研究会は、115年前に発足した日本初のがん専門機関であり、基礎研究を行う「がん研究所」、患

者中心の集学的アプローチを行う「がん研有明病院」、抗がん剤研究に特化した「がん化学療法センター」、遺伝子研究を行う「がんプレシジョン医療研究センター」、国際共同治験や臨床研究を加速する「先進がん治療開発センター」などから構成されています。研究所、病院、各センターが同じ建物を共有しているため、がん研のスタッフは、全人的ながん治療を提供し、最先端の研究を行うために、部門を超えて協力することができます。

お問い合わせ先

- ・ 公益財団法人がん研究会 有明病院
先進がん治療開発センター
高石 勝
Tel: 03-3520-0111
Email: liaison@jfcr.or.jp
- ・ パレクセル・インターナショナル株式会社
二宗 みのり
Tel: +81 80-5781-0123
Email: minoriniso@parexel.com